

ORACLE + WORKPLACE INTELLIGENCE

# 再びリーダーシップをとるために： 従業員がコントロールを取り戻すためのテクノロジー

重要なキャリア開発ツールとしてのAI



AI@Work: 2021 グローバルスタディ



# 人々は自分の生活の主導権を持つことを強く望み、自分の将来を明確にするためにテクノロジーを求め始めています

これまでの3年間、私たちは日々進化する職場での人とテクノロジーの関係性、つまり、テクノロジーが私たちの信頼、関係性、メンタルヘルスにどのような影響があるのかに関して調査してきました。では、テクノロジーが私たちの将来にどのように影響を与えるのかに関してはどうでしょうか？私たちの成功にはどのような影響を与えるでしょうか？そして、最近一変してしまったこの進化する仕事の世界の舵を取るためにはどのように役立つのでしょうか？

世界的なパンデミックにより、働く場所、働き方、共に働く相手など、あらゆるものが変化しました。組織や従業員は、自分ではどうしようもない状況にも適応するよう余儀なくされ、経営を何とか回し、仕事を維持し、ソーシャルディスタンスによる孤独感を寄せ付けないための戦略を見つけました。

2022年に向けて、従業員は自分の将来に対する主導権を取り戻したいと強く思っています。また、成功が彼らにとって何を意味するのかを再評価する従業員も多いです。テクノロジーは、最近の歴史で生じた非常に困難な状況を切り抜ける助けとなりましたが、ここで疑問が残ります：テクノロジーが私たちの今後の職場で果たす役割は何でしょうか？





この疑問を晴らすため、OracleはWorkplace Intelligenceと提携し、13か国、14,639名の従業員、マネージャー、HRのリーダー、およびC-Suiteの役員に対し調査を行いました。今年、その考え方における変化に関する結果は目を見張るようなものでした。驚くべき調査結果についていくつか説明します。



**82%**

82%が、人間よりもロボットの方がキャリア開発をサポートしてくれると考えています

**85%**

85%が、自分の将来を定義できるようなテクノロジーを求めています

さらに以下のことがわかっています：

**85%**

従業員の85%が、自分のキャリアに対する雇用主の支援に満足していません。

**87%**

従業員の87%が、従業員のニーズに耳を傾けるために、会社はより多くのことを行うべきだと考えています。

人々が人生で本当に重要なものを振り返り続ける中で、組織が一步踏み出し、従業員の繁栄を支援するための適切なツールを提供する必要があります。それを疎かにする組織は、一番の資産である従業員を失ってしまう恐れがあります。

# 主要な調査結果

パンデミックは、2021年も引き続き世界中の労働者に影響を与えました

**80%**

回答者の80%は、この一年間で悪影響を受け、多くの人が財政的に苦しみ、メンタルヘルスの低下に苦しみ、キャリアに対するモチベーションを欠いていると述べています。

人々は、自分の生活の主導権を取り戻したいと強く思っています

**83%**

回答者の83%が、来年にかけてキャリアを変えたいと考えており、93%の人々が自分の私生活を変えたいと思っています。

人々は「行き詰まり」を感じ、前に進めません

**75%**

回答者の75%が自分のキャリアに行き詰まりを感じ、回答者の76%は、私生活において行き詰まりを感じていました。

大きな障害により、人々はキャリアチェンジに踏み出せません

**76%**

回答者の76%が財政的な困難、どのようなキャリアチェンジが適切か分からない、または自信の欠如といった障害に直面しています。



# 主要な調査結果

希望の兆し：  
人々は自分を振り返る時間をつくりました

93%

回答者の93%は、この一年間で自分の私生活およびキャリアを振り返り、将来について考えていました。

企業は、自社の従業員を十分にサポートできていません

85%

回答者の85%は、雇用主による支援に満足しておらず、回答者の87%が彼らのニーズに耳を傾けるために会社をもっと多くのことを行うべきだと述べています。

成功の意味が改めて定義されました

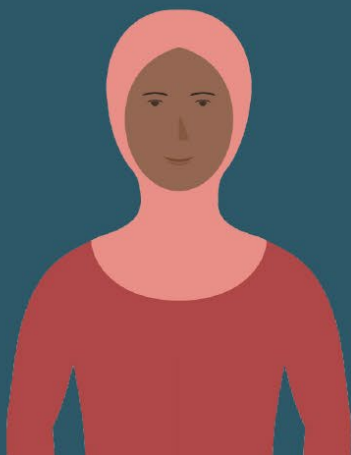
88%

回答者の88%が、彼らにとって成功の定義が変わったと述べています。ワークライフバランス、メンタルヘルス、および柔軟性が今では最優先事項です。

従業員はAIに支援を求めています

82%

回答者の82%が、ロボットが人間よりも自分のキャリアをサポートできると考えており、回答者の85%が将来を定義するのに役立つテクノロジーを望んでいます。



# 調査方法



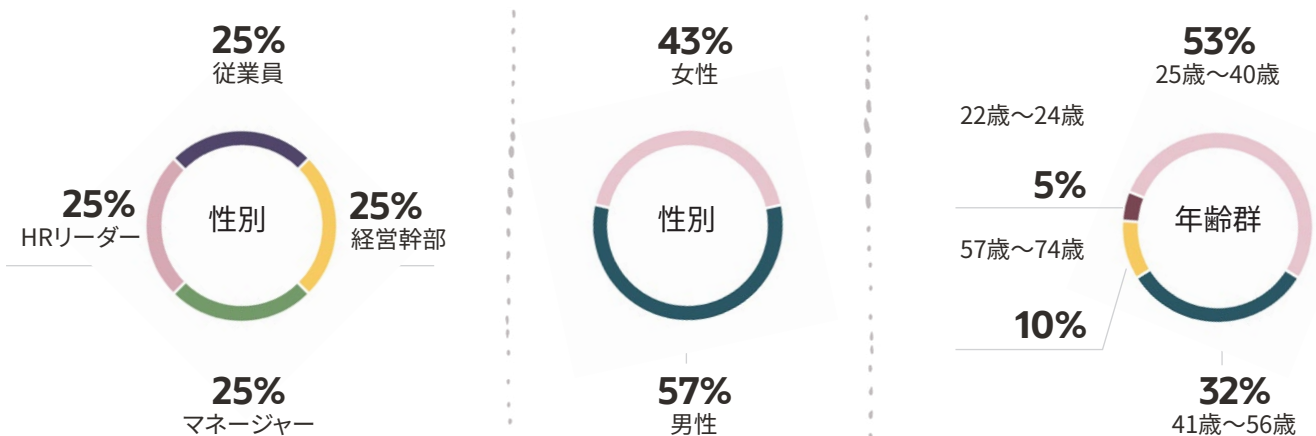
調査結果は、2021年7月27日から8月17日の間に、米国、英国、アラブ首長国連邦、フランス、オランダ、ドイツ、ブラジル、インド、日本、韓国、シンガポール、オーストラリアで行われたSavanta, Inc.による調査に基づいています。今回の調査では、14,639名のC-Suite役員、HRのリーダー、マネージャー、正社員に対し、コロナウイルスが職場、AIとキャリア開発、職場でのAI採用に与える影響について質問がされました。本検討では、22歳～74歳の正社員を対象にし

## 国別 回答者

ドイツ	1,004	オーストラリア	1,015
フランス	1,010	中国	1,023
オランダ	1,010	アラブ首長国連邦	1,028
英国	1,011	インド	1,032
シンガポール	1,013	ブラジル	1,058
日本	1,014	米国	2,407
韓国	1,014		

ています。回答者は、パネルに参加し、市場調査アンケートに参加するために、様々なソースを介した様々なメカニズムにより募集されました。パネルリストは全員、調査に参加する前に、ダブルオプトインで同意をし、平均で300のプロファイリングデータポイントを完了しました。回答者は、電子メールにより参加の招待を受け、参加に対し少額の金銭インセンティブを受け取りました。

いかなるサンプルの結果も、サンプリングの変動次第で変化します。変動の大きさは測定可能であり、インタビューの回数と結果を表すパーセンテージのレベルに影響されます。この特定の研究において、サンプルに代表される世界中のすべての人にインタビューを行った場合に得られる結果から調査結果が±0.8ポイント以上変化しない可能性は100分の95です。



# 2021年は、労働者にとって またしても困難な年となっています

1年にわたるロックダウンにより、世界中の労働者が孤独や社会から断絶したような気持ちを感じたり、自分ではどうしようもないと感じていました。当社の調査によると、10人に8人が過去1年間に悪影響を受け、多くの人が経済的に苦しみ、メンタルヘルスの低下と孤独に苦しみ、キャリアに対するモチベーションを欠き、自分の生活から切り離されたと感じています。

おそらく、さらに注目すべきは、回答者の52%が2020年よりも2021年に職場でのメンタルヘルスに苦しんでいると答えているという事実です。そして、回答者の62%は、2021年に、前年よりも仕事で多くのストレスや不安を経験したと述べています。これらの結果は、我々がまだパンデミックのどん底にあり、その反響が今後何年も感じられることを厳しく思い出させるものです。

当社の調査はまた、人々が過去1年間で自分の人生の多くの側面に対する主導権を失っていると感じていたことを明らかにしました。回答者の約10人に4人が、自分の将来、私生活、キャリア、および人間関係をコントロールできなくなったと感じています。事実、パンデミックが始まって以来、私生活やキャリアをほとんどまたは全くコントロールできなくなったと感じる人の数は2倍以上になりました。

さらに、回答者の4分の3は、過去1年間にわたり私生活およびキャリアにおいて行き詰まりを感じていると報告しました。多くの人々が、起きていることすべてに圧倒され、不安を感じていました。回答者の25%が不安の原因として自社での成長機会の欠如を示しました。一方、回答者の20%は自分のスキルが古くなったと感じ、回答者の45%はロボットとテクノロジーの台頭によって、将来的に自分のスキルが不必要になる可能性を心配しています。

ほとんどの人が、人生のある分野で行き詰まりを感じていることにより、自分の生活の他の部分にも影響が出ていると言うのは驚くべ

## 80%

回答者の80%が、この一年間で悪影響を受けていると述べています：

**29%** 29%が経済的に苦勞しています

**28%** 28%がメンタルヘルスへの悪影響を感じています

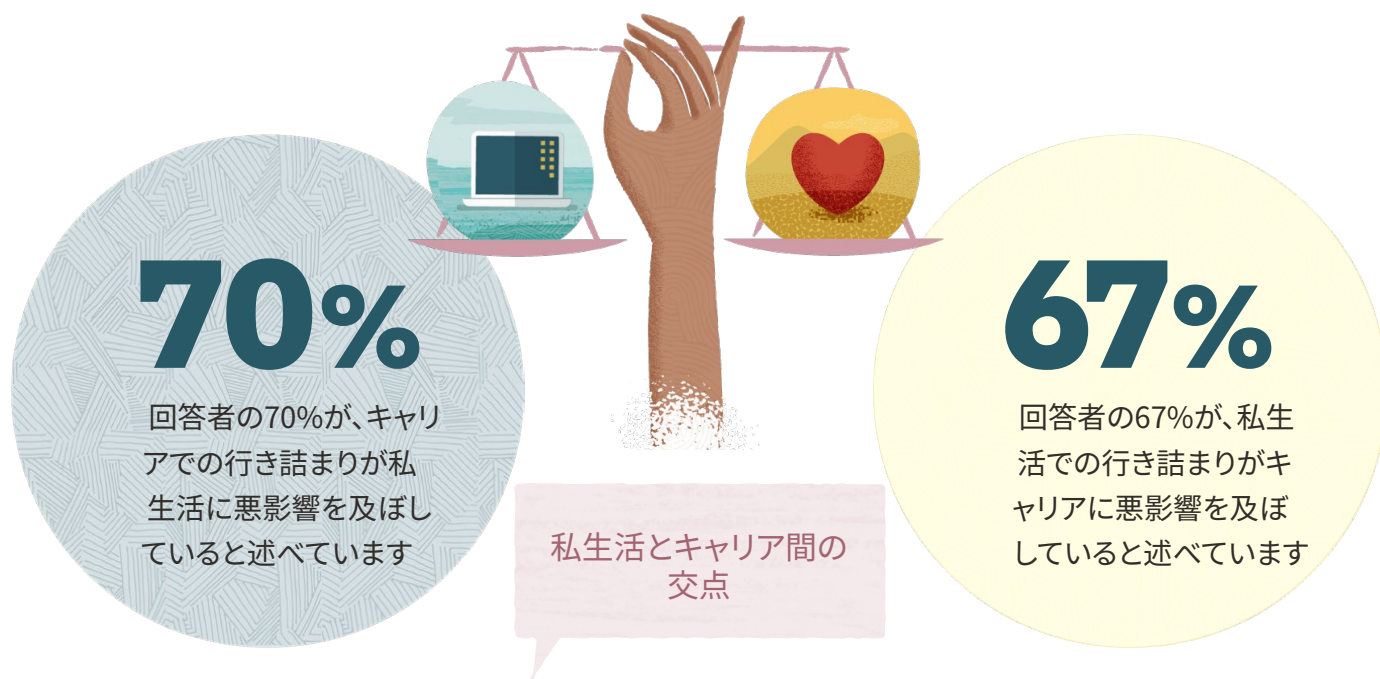
**26%** 26%が過去のどの年よりも孤独を感じています

**25%** 25%がキャリア目標を達成するモチベーションが低下しています

**23%** 23%が、自分自身の人生から切り離されたように感じています



きことではありません。例えば、回答者の70%が、自分のキャリアに行き詰まりを感じていることが私生活に悪影響を及ぼしていると答えています。回答者の40%が、これにより私生活に余分なストレスと不安が加わった、回答者の29%はこれが個人的に行き詰まりを感じることに貢献している、回答者の27%は私生活に集中できなくなったと述べています。私たちのキャリアと私生活は常に絡み合ってきましたが、リモート勤務やリモートとオフィスのハイブリッドの勤務形態に移行する人が増えるにつれて、仕事と生活の境界線がさらにぼやけていることは明白です。



回答者の75%が自分のキャリアに「行き詰っている」と感じていました。理由は：

- キャリア成長の機会がなかった (25%)
- キャリアを変えることに圧倒されすぎている (22%)
- 職場環境の変化により自分のスキルが古くなっていると感じている (20%)

回答者の76%が、私生活に「行き詰まり」を感じていました。理由は：

- 将来について不安を感じる (31%)
- 同じルーティンから抜け出せないと感じる (27%)
- 孤立している・孤独に感じる (26%)



# 人々は新たなスタートを切るのを待ち焦がれています

80%の人々が、パンデミックにより悪影響を受けましたが、希望の兆しもあります:93%の人々が、この一年で自分の私生活およびキャリアに関して振り返り、将来について考えました。多くの個人にとって、今後1年間の焦点は、パンデミックの間に彼らがいたマンネリから抜け出し、人生の新しい章を始めることにあります。事実、人々は2022年を迎えることにはるかに自信を持っており、回答者の74%が自分のキャリアをコントロールできるように感じ、回答者の77%が私生活をコントロールできていると感じています。

この新しい自信を武器に、83%の人々が今後1年間でキャリアを変えたいと述べ、93%の人々が私生活を変えたいと考えています。職場では、43%の人々が新しいスキルを身につけたり教育を受けたいと思っており、34%の人々が昇進や昇給を望み、23%の人々が社内で新しい役割を担うことを目指しています。私生活では、55%の人々が健康とフィットネスを改善したいと考えており、41%の人々がより多くの旅行を望み、33%の人々がより社会的になりたいと考えており、33%の人々が死ぬまでにやっておきたいことリストの項目を達成し始めたいと考えています。

人々は将来の計画や目標を考えるだけでなく、この時間を使って「成功」が彼らにとって何を本当に意味するのかを考えました。回答者の10人に9人近くが、成功の意味が変わり、今ではよりワークライフバランスの達成、良好なメンタルヘルスの維持、職場での柔軟性といった価値観に沿っていると答えています。回答者の29%が、安定した給料よりも有意義な仕事を持つことが彼らにとって重要であると述べています。

世界的に変化が求められています

**80%**以上

世界の労働人口の80%以上が、今後1年間で私生活やキャリアを変えたいと考えています





## パンデミックが「成功」の定義をどのように変えたか



**88%**

88%がこの1年で「成功」の意味が変わったと述べています。

**42%**の人々が、今ではワークライフバランスを達成することが成功するためのより大きな要因であると述べています

**37%**の人々が、今では自分のメンタルヘルスを優先することが成功により貢献すると述べています

**33%**の人々が、最近の成功は、自分がいつどこで働くかに対する柔軟性を持つことを意味すると述べています

**29%**の人々が、今では安定した給料よりも有意義な仕事を持つことが成功に貢献すると述べています

これらの結果は、パンデミック以前と比較して、今では労働者の優先順位が大きく異なることを明確に示しています。人々は、自分が勤めたい雇用主のタイプ、キャリアで何を求めるのか、健康と幸福に置く重要性に関して考えを改めています。企業は、パンデミック後の職場が人々のためにどのようなものになるかを考え直す上で、人々の考え方の変化を考慮する必要があります。これには、従業員をどれだけサポートしているかを調べることも含まれています。多くの従業員が人生の一步を再度踏み出すことに不安を感じているのです。

# 人々がキャリアを変えたいと望む意欲が高まる一方で雇用主は適切なサポートを提供していない可能性があります

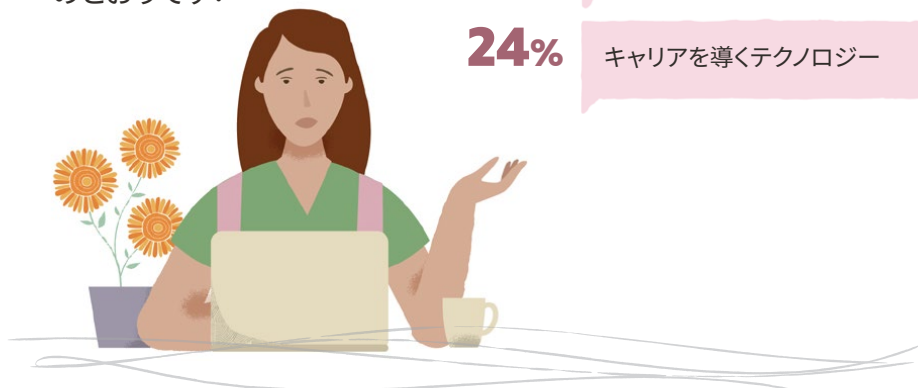
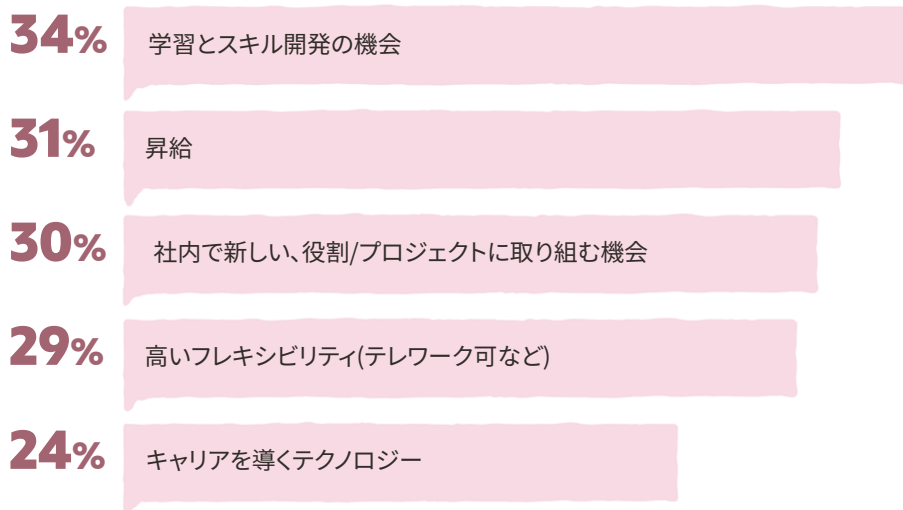
人々はこれまでになく変化を望んでいます。調査では、世界の労働者の83%が今後1年間でキャリアアップしたり、キャリアを変えたいと答え、73%の人々がそうする意欲を持っています。しかし、76%の人々は、財政的な困難、どのようなキャリアチェンジが適切か分からない、十分な自信を持っていない、社内に成長機会がないなど、大きな障害に直面しています。

これらのハードルは現実のものであり、雇用主のサポートが不十分であることが、従業員のキャリアアップを妨げる最も大きな課題である可能性があります。驚くべきことに、85%の人々が会社のサポートに満足しておらず、企業が学習およびスキル開発の機会、より高い給料、新しい役割やプロジェクトを引き受ける機会、柔軟性、そして彼らのキャリアを切り開くのに役立つテクノロジーをもっと提供してほしいと考えています。

# 85%

85%が、キャリアに対する雇用主のサポートに満足していません。

彼らが求めているものは次のとおりです：



人々はキャリアアップをしたいと切実に思うあまり、半分以上の人々は、より多くのキャリア開発の機会と引き換えに休暇や金銭的なボーナスのような福利厚生を諦めるほどです。組織にとって、これは従業員に十分なサポートを提供していない可能性があるという警鐘です。実際、回答者の87%は、従業員のニーズに耳を傾けるために、会社はより多くのことを行うべきだと考えています。また、現在の勤め先に残るかどうかを含め、多くの人々が自分の優先順位と将来を再評価しているため、企業が行動を起こす時間はかつてないほど差し迫っています。

## 人々は、キャリア開発の機会をより多く得るために大きな犠牲を払うでしょう

**52%** が休暇期間を犠牲にするでしょう

**51%** が金銭的なボーナスを放棄するでしょう

**43%** は給料に一部をあきらめるでしょう



# 従業員は、自分の将来とキャリアを切り開くためにテクノロジーを求め始めています

従業員をサポートする新しいテクノロジーを提供することは、組織が従業員をサポートする重要な方法の一つです。2020年、驚くことに、世界中の労働者のほとんどが人間よりもロボットにメンタルヘルスサポートを快く求めることが判明しました。当社は今年、人々が将来を定義できるようなテクノロジーを喜んで使用するかどうかを調べたいと考えました。

これは大きな躍進です。メンタルヘルスサポートを提供するという事は、人々が人生における大きな決断を下すのを助けるのとは大きく異なります。しかし驚いたことに、当社が調査した人の大半はロボットにガイダンスを頼っていることがわかりました。事実、回答者の85%はテクノロジーが将来を定義するのに役立つと考えており、印象的なことに回答者の82%はロボットが人間よりもキャリア開発をサポートできると信じています。さらに、回答者の75%がロボットからの推奨事項に基づいて生活を変えるつもりです。



# 85%

85%が将来を定義するのに役立つテクノロジーを望んでおり、82%が人間よりもロボットがキャリア開発をサポートできると考えています

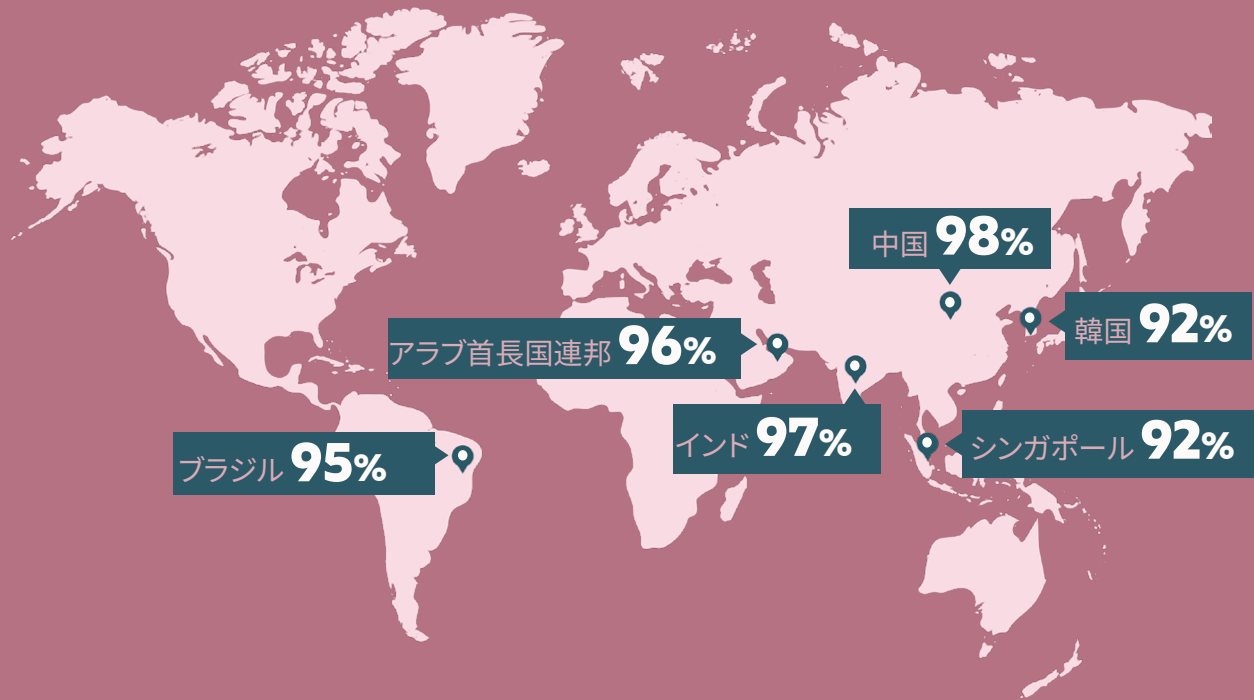
これらの結果は注目すべきものであり、革新的なソリューションを受け入れる人々の姿勢が毎年成長し続けていることを明確に示しています。労働者は、リモート勤務およびハイブリッドな勤務形態を可能にするためにこれまで新しいテクノロジーを迅速に採用しなければなりませんでした。今ではそれらをより多く求めています。これには、キャリアやその他の主要なマイルストーンを簡単に切り開くためにAIを信頼することも含まれます。

新しいソリューションを求める考えが広範囲に広まっているにもかかわらず、回答者のわずか47%が、現在職場で何らかの形でAIを使用していると答えており、回答者の31%は、会社がAIについて議論すらしていないと答えています。人々が、新たな方法で自分を助けるテクノロジーの能力を信頼し始めている一方で、一部の雇用主は適応が遅れていることは明らかです。しかし、当社の調査結果が明らかにしたように、企業が社員のキャリア開発と個人的な成長をサポートするためにAIを提供する場合、得られる結果は利益だけなのです。

<sup>9,10</sup> 2021年度AI@ワークスタディ

世界的な視点から：どの国がAIを利用しているか？

回答者のほぼ全員が、自分の将来を定義できるようなテクノロジーを求めています：



- ドイツ、フランス、英国、米国ではAIを信頼する人は減ります。これらの国では、ロボットによる推奨事項に基づいて生活を変えたり、キャリア関連の決定を下したりする人は3人に2人未満です。
- 現在、職場で何らかの形でAIを利用していると回答している日本人の回答者は31%に過ぎず、回答者の47%が自社ではAIについて議論すらしていないと答えています。

# 求められているもの：ロボットのキャリアアドバイザー

キャリア開発やその他の人生の変化をサポートするAIテクノロジーの需要が高まっていることは間違いありません。47%の組織が既にAIソリューションを採用していますが、躊躇している企業は、これらのツールが提供できる多くの利点を考慮するのが賢明でしょう。

たとえば、AIはこれからも従業員にとって役に立つ日々のツールであり続けることがわかりました。回答者の3分の1は、リソースやキャリアの質問に対する迅速な回答を得るためにロボットに頼ると述べています。しかし、私たちの調査では、それ以上のものがAIで提供できることも判明しました：従業員の半数以上が、AIを使用することで、自分のキャリアに対し自信を持ち、コントロールすることができるかと答え、従業員の55%が、キャリアの成長をサポートするためにAIを使用する雇用主にとどまる可能性が高いと答えました。

85%の人々が、以下の方法で自分の将来を定義できるようなテクノロジーを求めています：

- 向上させる必要のあるスキルを特定する (36%)
- 新たなスキルを学ぶ方法を勧める (36%)
- キャリアの目標に向けて進むための次のステップを提供する (32%)

82%の人々が、人間よりもロボットの方がキャリア開発をサポートしてくれると考えています。そして、ロボットが以下のことにおいてより優れていると考えています：

- 偏見のない推奨をしてくれる (37%)
- 現在のスキルまたは目標に合わせたリソースを提供してくれる (33%)
- 自分のキャリアに関する質問に迅速に答えてくれる (33%)
- 現在のスキルに適した新しい仕事を見つけてくれる (32%)

その一方で、人間は以下のことにおいてより優れていると考えています。


- 個人的な経験に基づきアドバイスを提供してくれる (46%)
- 強みと弱みを特定してくれる (44%)
- 履歴書だけでなくその人の性格に適した役割を推奨してくれる (41%)
- 新たな仕事または役割について個人的な推奨事項を提供してくれる (38%)

AIにより、従業員は以下のように感じられます：

- 自分のキャリアに対しより自信が持てる (58%)
- 自分のキャリアについてのストレスが減る (57%)
- 自分のキャリアをさらにコントロールできる (53%)

ご存じですか？

AIは従業員の定着率を上げる役に立ちます



# 55%

世界の労働者の55%は、AIを使用してキャリアの成長をサポートする会社にとどまる可能性が高いです。この数は、インド(82%)、中国(78%)、アラブ首長国連邦(76%)の労働者間でさらに高くなっています。

# 未来の職場で労働者が目標に向かって前進するために必要なツールを提供していますか？

コロナウイルスによるパンデミックにより、75%の人々が自分の生活の中で行き詰まりを感じましたが、世界の労働者は自分の将来をコントロールすることを待ち望んでいます。しかし、彼らは目の前に立ちはだかる障害に直面しています。85%の人々は、雇用主のキャリア支援に満足しておらず、学習・スキル開発やその他の社内機会の欠如が主要な改善分野として挙げています。

人々はキャリアと私生活の両方で前進することを強く望み、ガイダンスを得るためにテクノロジーを求めています。回答者の85%が、キャリア目標に向けて進むための次のステップを提供するなど、将来を定義するテクノロジーを求めています。職場でAIが使用されていると答えた人は半数以下です。ビジネスにとって、これらの結果は、行動を起こす必要があることを明確に示しています。AIの受け入れはすでに広まっており、企業が適切なソリューションを従業員の職場に導入する時が来ています。人々が新しいスキルを学び、キャリアアップを助けることは、今後の職場で彼らが成功するための能力を得るために不可欠であるだけでなく、彼らの人生により大きな充実感を見出すのにも役立ちます。

特に企業がますます増加するスキルギャップに直面する中で、従業員のキャリア開発に対する強いコミットメントは、ビジネスの成長にとっても重要です。事実、回答者の76%が、組織内でスキルギャップがあると述べています。しかし、会社で人材のスキルを向上させていると述べた回答者はわずか42%で、AIを使用して社内の役割を特定し、ポジションを埋めている会社は27%しかありませんでした。

企業にとって、従業員が仕事の未来を切り開くのに役立つツールを提供することは機会であり、そうすることの利点は明白です。早期にAIを導入した組織は、より革新的で協力的であると見なされるだけでなく、パンデミックおよびその後、従業員が私生活およびキャリアにおいてベストを尽くすために必要なものを与えるでしょう。そして、それこそが従業員の満足度の高さより良い収益を得るためのレシピなのです。

これから前進していくうえで、あなたは従業員のニーズを満たす態勢が整っていますか？

Oracle Cloud HCMがどのように役に立つのかを学ぶ。

連絡先

電話番号：+1.800.ORACLE1 ウェブサイト：oracle.com.

北米以外にお住まいの方は、oracle.com/contact.からお近くの事務所をご確認ください。

